

**令和4年度**

**「障害者スポーツ推進プロジェクト（障害者  
スポーツの指導等に係る競技別の標準化・マ  
ニュアル作成等）」**

**成果報告 概要**

---

**令和5年3月31日 一般財団法人全日本ろうあ連盟**

# ① 目的・実施内容

## 実施した内容

- ・会議開催（検討委員会、専門部会）
- ・メーリングリスト等を活用した意見交換
- ・パンフレット作成への意見提案・骨子案作成
- ・スポーツに精通した手話言語通訳者養成研修会企画、検討
- ・事業の結果・分析、提言作成

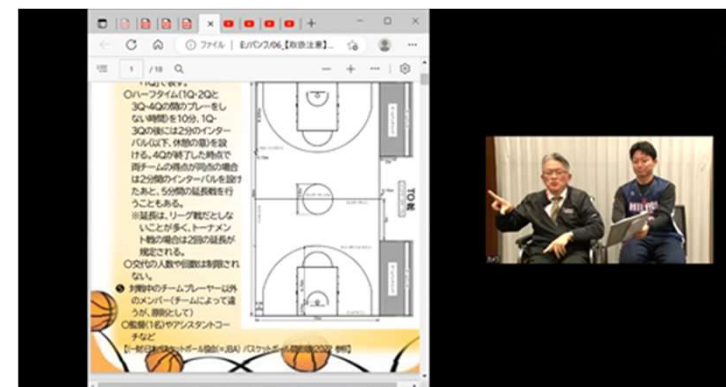


実施時期	実施事項	
	1.検討委員会	2.専門部会
10月	4日 委託契約	
	6日 第1回検討委員会	6日 第1回専門部会
11月	17日 第2回検討委員会	17日 第2回専門部会
1月	10日 第3回検討委員会	10日 第3回専門部会
2月	11日 研修会開催	
3月	2日 第4回検討委員会	2日 第4回検討委員会
	事業委託成果報告書作成(製本)、完了報告書(会計等)提出	

## ②デフスポーツ団体体制整備支援及び情報提供の実施

現状・課題

- デフスポーツに精通した手話言語通訳者を養成していくために、デフスポーツにおける、「医科学」「専門競技」などの分野毎に通訳が必要なケースや、通訳をするにあたっての留意事項をまとめたマニュアルが必要



ヒアリング  
・研修

- 「医科学」「専門競技(水泳・バスケ・空手)」における手話言語通訳をテーマとしたマニュアル作成
- スポーツに精通した手話言語通訳者養成研修会(対面+オンライン)の開催

### 【課題の整理】

⇒全体的に高齢化しているので、スポーツを通して若い手話言語通訳者を増やしていく体制作りが必要。通訳養成カリキュラムの構築が急がれる。  
⇒2024年はバレーボールの世界選手権、2025年はデフリンピックが日本で開催される為、国際手話通訳も視野に入れ、国内開催での国際大会と海外遠征の国際大会と2軸で整理していく。

### ③成果物（パンフ4点、通訳者養成アンケート結果）

（共通編）「デフアスリートをささえる vol. 3 医科学編」

（競技編）「デフアスリートをささえる競技別手話言語通訳ガイドブック バスケ編」

「デフアスリートをささえる競技別手話言語通訳ガイドブック 水泳編」

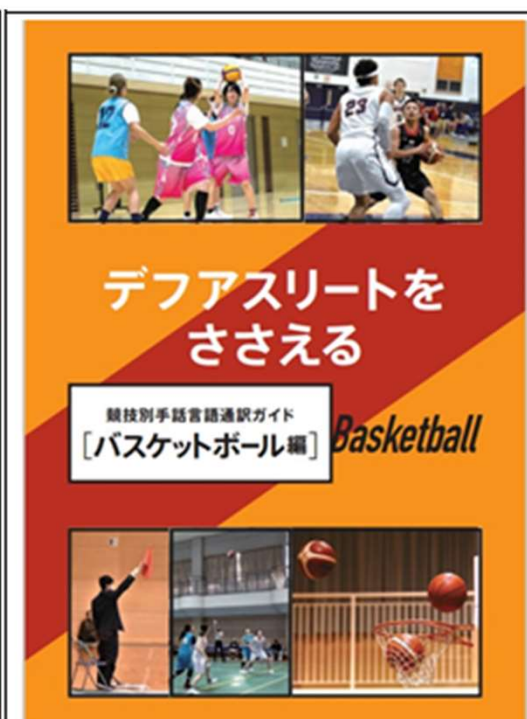
「デフアスリートをささえる競技別手話言語通訳ガイドブック 空手道編」



医科学編（24ページ） ←



水泳編（16ページ） ←



バスケ編（20ページ） ←



空手編（24ページ） ←